

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	乳幼児体育	教員氏名	井狩 芳子
学年	1年	開講学期	後期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士必修		
テーマ	乳幼児期の運動あそびについて、「理論に基づく実践ができる保育者」を目指す		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	<p>1、乳幼児期に支援すべき運動あそびについて(演習)</p> <p>2、乳児期の運動あそびについて(理論・実践)を、身近な教材を用いて、グループワーク、グループディスカッションを行いながら授業を展開する。</p> <p>3、幼児期の運動あそびについて(理論・実践)を、身近な教材を用いて、グループワーク、グループディスカッションを行いながら授業を展開する。</p> <p>* 但し、授業は、内容に応じて「教室・体育館・戸外」等、様々な場所で実施する。(⇨掲示等で要確認)</p> <p>4、実技実施日には、学生自身の安全を図る視点から、その運動に適した服装や用具を整える必要性を理解し、同時に子どもの安全を保障する視点も学ぶ。</p> <p>5、学期終盤には、運動プログラムの作成を試み、プレゼンテーションを行う。</p>		
授業の到達目標	<p>・乳幼児期の運動遊びは、人の発達過程において不可欠なものである。まず、乳児期の粗大運動は、脳の初期発達を促す意味から重要な役割を担っている。また、五感が豊かに育つためには、歩行運動や指先の巧緻性の獲得なども不可欠である。さらに、幼児期に仲間とあそぶ運動あそび体験は、心身の発達にとって欠くことの出来ない要素である。運動あそびの機会が減少するなか、生きるために必要な「運動能力」を、保育現場や日常生活で保障していくことが出来る保育者養成を目指す。</p>		
テキスト	岩崎洋子編『保育と幼児期の運動あそび』萌文書林		
参考書	<p>幼児期運動指針(文部科学省)、関連科目の教科書等</p> <p>* 但し、プリントは各自1セットとする</p> <p style="text-align: right;">授業中にプリントを配布する</p>		
ポートフォリオ	<p>①「毎授業に実施する課題運動あそび達成確認表」と「指定課題」のワークシートの提出。</p> <p>② ①の各ワークシートをキャリアファイルに綴じる。</p>		
課題の確認と成績評価方法	<p>①授業への積極参加(50%) * 服装・靴・用具等の準備状況も含む</p> <p>②ワークシート提出(20%)</p> <p>③課題(第14回/15回参照)提出(30%)</p> <p>注意:実技実施日に、運動に不適切な服装を着用して参加しようとした場合、安全上の視点から実技参加は出来ず、見学とする。</p> <p>見学の場合、見学以外の行為をした場合、見学とは認めない。</p>		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	教室：子どもにとって、からだが動くこととは ①子どもの成長・発達の視点から、からだ動くことの意義をディスカッション、グループワークを通して認識する ②「振り返りシート」の記入を行い、半年間の授業の流れをイメージする
	授業外指示	<予習>シラバスを熟読して臨む <復習>保育者養成校の学生として子どもの運動あそび観を持つ。ワークシート「ベビーサイン」
第2回	テーマ 内容	教室：身体を持つ基本動作を探る 様々な運動あそびや動きから、動きの基本動作をディスカッション、グループワークを通してイメージする。
	授業外指示	<予習>自分が体験した運動あそびや日常生活に必要な動きを整理し臨む <復習>ヒトの様々な動きを保障するための保育者の役割を考える。ワークシート「ヒトを支える基本の動き」
第3回	テーマ 内容	教室：基本動作と「子どもの運動あそび・生活」 ヒトの持つ「36の基本動作」と、子どものあそび・生活
	授業外指示	<予習>ヒトの持つ、基本の動作を考え臨む <復習>幼児が基本の動きを獲得するための遊びを考える。ワークシート「基本の動きを保障する運動あそび」
第4回	テーマ 内容	教室：乳児期の運動あそび その1、乳児期の運動あそびの紹介と実践。（視聴覚教材使用予定）
	授業外指示	<予習>乳児期の子どもの運動機能について、戸外観察等をして臨む <復習>専門家が紹介するあそびから、援助内容を考える。ワークシート「乳児期の運動あそび」
第5回	テーマ 内容	体育館の教室と体育館：戸外あそび（導入） その2、戸外あそびの紹介と体験 自身の子ども期のあそび体験について日記を書き、グループワークを行う簡便なあそび体験を実証
	授業外指示	<予習>自分が経験してきた戸外あそびを思い出し、その意味を考え臨む <復習>学びの記録。ワークシート「子ども期のあそび体験と評価」
第6回	テーマ 内容	教室集合→戸外：戸外あそび体験 その3、戸外あそび体験と、あそびマップの作成 近所の公園を利用し、グループでマップを作成する
	授業外指示	<予習>戸外あそびに適した準備をし、季節の遊びの知識を収集して臨む <復習>あそびマップを作成する。ワークシート「あそびマップ、散歩マップ」 保育内容「健康」の教科書P.185～192を復習しておく
第7回	テーマ 内容	教室集合→戸外：冒険あそび場体験 その4、冒険あそび場体験と気づき 地域のNPO法人と協働し、学生のダイナミックのについてのフィールドワークの機会を保障する。体験の中にはグループワークを含む
	授業外指示	<予習>戸外あそびに適した準備をし、冒険遊びの知識を収集して臨む <復習>学んだ内容を基に、戸外あそびについての知識を整理する。ワークシート「私が行く、戸外あそび」
第8回	テーマ 内容	アリーナ：用具を使ったあそび その5、幼児期の運動あそび「フープと縄」 基本の実技体験後に、グループワークを通し、各あそびの発展形を考え、プレゼンテーションを行う
	授業外指示	<予習>自分が体験した年齢別の「フープ・縄あそび」を思い出し臨む <復習>学んだ内容を基に、知識を整理する。ワークシート「フープと縄あそび」
第9回	テーマ 内容	リトミック室：リズムあそび その6、幼児期の運動あそび「歩いて・走って・跳んで・踊ろう！」 グループワークによる実技体験
	授業外指示	<予習>ヒトが成長（発育・発達）するプロセスを整理して臨む <復習>子どもの成長と乳幼児体育の課題を整理する。ワークシート「歩・走・跳」

第10回	テーマ 内容	アリーナ:用品を使ったあそび その7、幼児期の運動あそび「新聞紙」 グループワークによる実技体験
	授業外指示	<予習>教科書の該当箇所を読み、臨む <復習>学んだ内容を基に、知識を整理し、課題をおこなう。ワークシート「新聞紙あそび」
第11回	テーマ 内容	アリーナ:用品を使ったあそび その8、幼児期の運動あそび「ボール」 グループワークによる実技体験
	授業外指示	<予習>教科書の該当箇所を読み、臨む <復習>学んだ内容を基に、知識を整理し、課題をおこなう。ワークシート「ボールあそび」
第12回	テーマ 内容	アリーナ:集団運動あそび その9、幼児期の運動あそび「鬼ごっこ・ゲーム・レクリエーションあそび」 グループワークによる実技体験
	授業外指示	<予習>教科書の該当箇所を読み、臨む <復習>学んだ内容を基に、知識を整理し、課題をおこなう。ワークシート「鬼ごっこ、ゲームあそび」
第13回	テーマ 内容	アリーナ→教室:用品あそび / 課題説明 その10、幼児期の運動あそび「巧技台」 / 提出課題の説明
	授業外指示	<予習>教科書の該当箇所を読み、臨む <復習>①学んだ内容を基に、知識を整理 ②次回提出の課題説明と準備
第14回	テーマ 内容	教室:課題作成 「運動あそびプログラム」の作成とプレゼンテーション
	授業外指示	<予習>今までの学習全般を確認・準備をし、課題作成に臨む <復習>理解が不十分だった課題を確認しておく
第15回	テーマ 内容	教室:課題作成 ①「運動あそびの年間プログラム」の作成とプレゼンテーション ②半期振り返りシートの作成
	授業外指示	<予習>課題作成に備え、日本の季節や行事などの知識を確認し臨む <復習>①理解が不十分だった課題を確認しておく ②返却物をポートフォリオに綴じる

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	乳幼児体育	教員氏名	大下聖治
学年	1年	開講学期	後期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士必修		
テーマ	子どもの個々の状況に合わせた「身体表現遊び」「身体運動環境遊び」の環境を構築するための基礎力を養う		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	<p>子どもたちが「身体表現遊び」、「身体運動遊び」を積極的に実践していく上で、重要な因子となる運動機能、体力構成要素の低下が叫ばれて久しくなる。その原因は多岐にわたると考えられるが、乳幼児期における運動機能への刺激や「身体表現遊び」、「身体運動遊び」体験の不足が重要な因子となっている事は窺える。その為、保育者として、運動環境、及び運動遊びに関する知識、方法、技術について学ぶ事は、子ども(乳幼児)たちに、より多くの体験や、能力向上につながる刺激を与えられる環境を構築していく上で必要、且つ重要なことだと言えるだろう。本科目では、子どもの特性に合わせた身体表現・運動環境の構築、指導技術としての援助法、及び安全対策について知識と技術を身につけ、「身体表現」としての「身体表現遊び」、「身体運動遊び」の場を積極的に構築できる資質を養う。</p>		
授業の到達目標	<p>①身体の基礎を作る乳幼児期の運動発達の特徴と、そこに寄与すると思われる身体表現・身体運動・遊びについて、ディスカッションやグループワーク等を通じて理解を深める。 ②保育者として、その子どもの年齢、発達状況に応じた適切な「身体表現遊び」「身体運動遊び」を提示できる。 ③実際の保育の場における安全対策と、個々の運動に適した基本的な援助(補助)技術を習得する。</p>		
テキスト	特記事項なし		
参考書	幼児期運動指針ガイドブック(文部科学省) 幼児体育 理論と実践(初級) 日本幼児体育学会(編)		
	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	「教材収集安全対策」 「教材収集身体運動遊び」		
課題の確認と成績評価方法	<p>①学習態度・意欲(その単元に必要な準備と予習、及び環境回復作業を含む)20% ②課題への取組み80% (課題ノートチェック50%・身体表現遊びプログラムの発表30%を基準として評価する) ③授業の内容に相応しい服装、及び必要とする物品について、それが用意できていない場合は減点となる</p>		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	ガイダンス、及び乳幼児期の身体表現活動の発達 (如何に課題ノートを纏めていくか)
	授業外指示	子どもの運動、遊びの場面における動き、反応等を観察し、そこでの考察を疑問点も含めて箇条書きでもよいので纏めておくこと
第2回	テーマ 内容	乳幼児期の運動発達 (①運動機能の発達 ②発達の連続性・順序性 ③運動発達の傾向 ④粗大運動と微細運動 ⑤運動の発現一覧)
	授業外指示	授業で扱った乳幼児期の運動発達について、自分で調べた理論も含めてノートに纏めて、自分用テキストを作成していく
第3回	テーマ 内容	乳児期の身体表現と身体運動環境 (乳児期における運動刺激の必要性)
	授業外指示	授業で扱った乳児期の身体表現・身体運動環境構築について、自分で調べた方法も含めてノートに纏めて、自分用テキストを作成していく
第4回	テーマ 内容	幼児期の身体表現・身体運動環境 (幼児期の運動・表現遊びの意義と「幼児期運動指針」)
	授業外指示	授業で扱った幼児期運動環境構築について、自分で調べた方法も含めてノートに纏めて、自分用テキストを作成していく
第5回	テーマ 内容	体を移動する動き・表現・遊びⅠ (3～4歳に特化した遊びの意義と発展)
	授業外指示	3～4歳に特化した運動・表現・遊びについて、自分で調べた方法も含めてノートに纏めて、自分用テキストを作成していく
第6回	テーマ 内容	体を移動する動き・表現・遊びⅡ (5～6歳に特化した遊びの意義と発展)
	授業外指示	5～6歳に特化した運動・表現・遊びについて、自分で調べた方法も含めてノートに纏めて、自分用テキストを作成していく
第7回	テーマ 内容	身体操作性 (移動・バランス・危険回避能力を高める動き・表現・遊び) ※それぞれの動きについてのグループワーク
	授業外指示	授業で扱った身体操作性を高める運動方法・表現方法について、自分で調べた方法も含めてノートに纏めて、自分用テキストを作成していく
第8回	テーマ 内容	移動・バランス・危険回避能力を高める「身体表現・身体運動遊び」プログラムの考案とプレゼンテーション
	授業外指示	屋内外における「身体表現・身体運動遊び」プログラムを調べ、自分用テキストを作成していく
第9回	テーマ 内容	用具などを操作する動き・遊び (ボール遊びの基本的な考え方とボールを使った身体表現) ※それぞれの動きについてのグループワーク
	授業外指示	ボールを使った身体運動遊びについて、自分で調べた方法も含めてノートに纏めて、自分用テキストを作成していく

第10回	テーマ 内容	用具などを利用した身体表現遊び（様々な用具・器具などを使った身体表現の発展）
	授業外指示	用具・器具を用いた身体表現と、身体運動の方法と援助技術について、自分で調べた方法も含めてノートに纏めて、自分用テキストを作成していく
第11回	テーマ 内容	用具・ボールを使った「身体表現遊び」「身体運動遊び」プログラムの考案とプレゼンテーション
	授業外指示	用具・ボールを使った「身体表現遊び」「身体運動遊び」プログラムを調べ、自分用テキストを作成していく
第12回	テーマ 内容	マットを使った「身体表現遊び」「身体運動遊び」（転がる運動と援助技術）
	授業外指示	マットを利用して行われる身体表現・身体運動・遊びについて調べ、自分用テキストを作成していく
第13回	テーマ 内容	鉄棒を使った「身体表現遊び」「身体運動遊び」（前回り運動、逆上がり運動と援助技術）
	授業外指示	鉄棒を利用して行われる身体表現・身体運動・遊びについて調べ、自分用テキストを作成していく
第14回	テーマ 内容	安全が確保された「身体表現遊び」「身体運動遊び」の場Ⅰ（安全管理の考え方 事例から学ぶ） ※事例を基にしたグループディスカッション
	授業外指示	「身体表現遊び」「身体運動遊び」と安全対策について、屋外で発生した事故事例を調べ、その要因等を分析したものを纏めて、自分用テキストを作成していく
第15回	テーマ 内容	安全が確保された「身体表現遊び」「身体運動遊び」の場Ⅱ（安全管理環境調査の実践） ※調査結果を基にしたグループディスカッション
	授業外指示	「身体表現遊び」「身体運動遊び」と安全対策について、屋内で発生した事故事例を調べ、その要因等を分析したものを纏めて、自分用テキストを作成していく